
資料 4 : 議事資料

4(1) ワークショップ成果についての意見交換

評価項目の検討について

整備パターンの選択肢と評価項目（案）

1. 評価項目（案） 整備パターンの選択にあたって重視すべき視点

| 整備で考慮するポイント | | | 基本方針との整合性 | | |
|--|---|--|--|---|---|
| | | | 行政サービスの拠点 | 災害時の防災拠点 | まちづくりの拠点 |
| <ul style="list-style-type: none"> 事業実現性/スケジュール（スムーズな事業実施を図るものであるか） | <ul style="list-style-type: none"> コスト（財政負担の抑制を図るものであるか） | <ul style="list-style-type: none"> アセットマネジメント（既存ストックの有効活用を図るものであるか） | <ul style="list-style-type: none"> 整備中の行政サービスへの影響 公共交通機関の利便性 | <ul style="list-style-type: none"> 災害時の防災拠点としての機能の確保 | <ul style="list-style-type: none"> 清水都心地区のまちづくり方針との整合性 |

+

あるべき姿
(WS意見)

+

あるべき姿
(WS意見)

2. 整備パターンの複数の選択肢

| 建替（新築）パターン | | | 改修（長寿命化）パターン | |
|--|--|--|--|--|
| 案1（現計画ベース） | 案2 | 案3 | 案4 | 案5 |
| 清水駅東口公園移転建替 | 別敷地移転建替 | 現地建替 | 現庁舎大規模改修 | 別施設移転改修 |
| <p>清水駅東口公園の当初の敷地面積7,295㎡のうち、JCHO病院の移転先を除く、2,395㎡に新庁舎を建設する。</p> <p>➤ 容積率から新庁舎の規模の上限は、11,975㎡となり、約1,000㎡について別の検討が必要。</p> | <p>清水都心地区のまちづくり方針に従い、新たな土地を確保し、新庁舎を建設する。</p> <p>➤ 新庁舎の規模を確保できる新たな土地の確保が必要。（別添資料）</p> | <p>現庁舎の第1駐車場に新庁舎を建設する。</p> <p>（別添資料）</p> | <p>現庁舎の耐震化、津波対策や長寿命化のための大規模改修を実施する。</p> <p>➤ 改修時には、最低限の面積を有する仮設庁舎、又はそれに代わる施設が必要。</p> | <p>清水都心地区のまちづくり方針に従い、移転可能な既存施設を確保し、施設の状況に応じた、耐震化や津波対策、長寿命化のための改修を実施した上で庁舎として活用する。</p> <p>➤ 新庁舎の規模を確保できる既存施設の確保が必要。（別添資料）</p> |

評価項目（案）と評価の視点（案）

●市の方針やWS意見を踏まえ、整備パターンの評価における項目と視点を整理

| 区分 | 評価項目（案） | 評価の視点（案） |
|-------------|---------------------|--|
| 整備で考慮するポイント | 事業実現性/スケジュール | ・ スムーズな事業実施を図るものであるか |
| | コスト | ・ 市の財政負担の抑制を図るものであるか |
| | アセットマネジメント | ・ 既存ストックの有効活用を図るものであるか |
| 基本方針 | 行政サービスの拠点 | ・ 整備中の行政サービスが確保されているか |
| | 公共交通機関の利便性 | ・ 公共交通機関からのアクセスに優れているか |
| | 行政サービスの拠点としてあるべき姿 | WS意見を基に整理（下記は仮イメージ） <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民サービスを効率よくスマートに提供できる ・ 全ての市民が問題なくサービスにアクセスできる ・ 将来の不透明な社会変化に対応できる 等 |
| 災害時の防災拠点 | 災害時の防災拠点としての機能の確保 | ・ 清水庁舎に求められる防災機能を確保できるか |
| まちづくりの拠点 | 清水都心地区のまちづくり方針との整合性 | ・ 清水都心地区のまちづくりに寄与する整備となっているか |
| | まちづくりの拠点としてあるべき姿 | WS意見を基に整理（下記は仮イメージ） <ul style="list-style-type: none"> ・ 区民活動の拠点として機能する ・ 暮らしの困りごとが気軽に相談できる 等 |